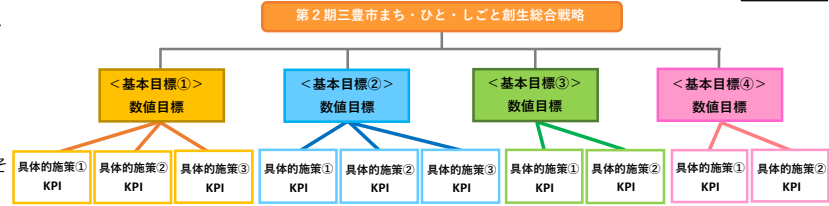


第2期三豊市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況

資料1

第2期三豊市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、右図のとおり、4つの基本目標で構成され、それぞれの基本目標に対し数値目標を設定するとともに、各基本目標に紐づけた具体的な施策・事業に対してはKPI（重要業績評価指標）を設定することで事業の進捗管理を行うこととしています。
このことから、本市が取り組む地方創生事業において、数値目標およびKPIの達成状況等を踏まえ、その成果と今後への課題を示すものです。



<基本目標1>ひとが「育つ」みとよへ

| 数値目標 | 単位 | 平成30年 (基準値) | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 | 目標値 | 達成状況 |
|------|----|----------------|------|------|------|------|------|-----|------|
| 出生数 | 人 | 403 | 312 | 343 | 292 | 271 | 263 | 500 | 未達成 |

<基本的方向> (1) 目標実現力を培う学びの推進

| KPI (重要業績評価指標) | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
|--|----|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 話し合うテーマを理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えられる児童・生徒の割合 | % | 22.4 | 24.2 | 25.7 | 24.1 | 24.7 | 22.2 | 55.0 | 未達成 |
| 将来の夢や目標を明確に持っている生徒の割合 | % | 33.5 | 45.8 | 40.2 | 35.9 | 39.3 | 38.8 | 65.0 | 未達成 |
| スポーツ推進委員数 | 人 | 41 | 42 | 42 | 40 | 40 | 40 | 45 | 未達成 |
| 市長杯スポーツ大会の開催件数 | 件 | 19 | 10 | 8 | 14 | 16 | 15 | 20 | 未達成 |
| AI講座・プログラミング教室受講者数 | 人 | - | 524 | 400 | 883 | 353 | 408 | 950 | 未達成 |

【主な事務事業名】
・保健体育推進事業 ・企画一般管理事業

【成果及び課題】

・出生数は一貫して減少傾向にあり、最終年度の令和6年度の出生数は目標の約半分となった。本市の若年女性の他自治体への流出が顕著であり、それが出生数低下の原因と分析されるため、長期的な視点で見ると、若年層の定着が人口減少の抑制につながるものとする。今後はこの層をターゲットとした情報発信や移住定住施策を展開することで、将来の出生数の増加を目指す。

・子どもたちの学びの場においては、一人ひとりが自信を持って人前で自分の考えを発表できるよう、話しやすい環境づくりやテーマ選定を行い、継続的な意見交流の場を設定するとともに、各学校においてICT機器を有効活用した授業を推進する。また職場体験学習、プロスポーツ活用等の事業を通して、視野を広げ本物に触れる機会を持つなど、キャリア教育を充実させることと引き続き子どもたちが夢や目標を持つきっかけづくりを行う。

・スポーツ推進委員の数が目標値未達成となった理由としては、高齢化や仕事との両立が困難であること、市長杯スポーツ大会の開催件数が未達成となった理由としては、人手不足による開催準備等に要する各競技団体にかかる負担増であり、いずれにしても担い手不足が深刻化していることから、解決策を模索していく必要がある。

・人工知能(AI)分野ではChatGPTなどの大規模言語モデルが急激に普及しているが、適切に扱えるデジタル人材が不足している。香川高専、MaiZM、広域自治体等人工知能活用推進協議会と連携して、デジタル人材の育成を推進する。

<基本的方向> (2) 三豊愛の育成

| KPI (重要業績評価指標) | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
|------------------------|----|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 地域の歴史や自然について関心がある生徒の割合 | % | 67.4 | 71.0 | 67.0 | 62.0 | 60.4 | 63.8 | 80.0 | 未達成 |

【主な事務事業名】
・教育総務管理事業

【成果及び課題】

・今後も町探検や収穫体験等を通して、自分たちの住む地域の歴史や自然に触れ、魅力を再発見してもらえる場を提供していくことで、まちの一員としての自覚を持ち、本市に愛着を持つ子どもの育成を目指す。

<基本的方向> (3) 生まれる前から子育て期(～18歳)における一貫支援

| KPI (重要業績評価指標) | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
|--------------------|----|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|------|
| 保育施設待機児童数 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 達成 |
| 公立保育所のうち、民間運営委託施設数 | 箇所 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 未達成 |
| 3歳児預かり保育の実施 | 箇所 | 2 | 14 (14園中) | 13 (13園中) | 12 (12園中) | 12 (12園中) | 12 (12園中) | 公立幼稚園 全園 | 達成 |
| 4か月児健康診査受診率 | % | 98.1 | 98.6 | 99.4 | 99.3 | 99.6 | 99.3 | 99.0 | 達成 |
| 10か月児健康相談利用率 | % | 98.8 | 100 | 98.1 | 98.2 | 99.0 | 98.5 | 99.0 | 未達成 |
| 1歳6か月児健康診査受診率 | % | 99.0 | 98.8 | 100 | 99.4 | 99.7 | 98.7 | 99.5 | 未達成 |
| 3歳児健康診査受診率 | % | 98.4 | 99.8 | 99.5 | 98.8 | 99.4 | 99.2 | 99.0 | 達成 |
| 産後(1か月)ケア満足度 | % | 85.6 | 89.3 | 92.7 | 90.2 | 91.4 | 89.3 | 95.0 | 未達成 |
| 子育て支援拠点施設利用延人数 | 人 | 31,048 | 16,548 | 12,734 | 21,758 | 21,117 | 22,027 | 36,769 | 未達成 |

【主な事務事業名】
・母子保健事業 ・子ども未来応援事業 ・地域子育て支援拠点事業

【成果及び課題】

・保育施設待機児童数は、私立認定こども園や小規模保育園による受け皿の増加により待機児童0を維持している。

・4か月児から3歳児までの健康診査受診率、健康相談利用率は高い水準を保っている。未受診者については個別対応により健康状態の確認をするなど、きめ細かい支援を行っている。

・令和6年度は産後ケアを無償化したことで利用者が急増した。産後の心身の負担軽減や育児不安の解消により母親の心身の安定が促され、母子の愛着形成や家族全体の育児環境の安定につながっていることから、引き続き産婦に寄り添った支援を行う。

・子育て支援拠点施設利用延人数は、令和6年度から土日等の開設日を拡充した効果もあり増加傾向にある。現在は目標値に達していないが、令和7年度中の託児所舎建替え完了に伴い、たくま広場が再開するためさらなる利用者数の増加を見込める。今後も委託事業者と連携し、育児に関する情報共有の推進や利用者のニーズを把握し、イベント実施等の内容充実にも努め、子育て世帯の育児に対する不安の解消を図る。

| ＜基本目標2＞ひとを「守る」みとよへ | | | | | | | | | |
|-------------------------|----|-----------------|---------|---------|---------|-----------------|-----------------|---------|------|
| 数値目標 | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
| 災害時の死傷者数 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 達成 |
| リサイクル率 | % | 63.87 | 65.3 | 65.6 | 64.89 | 62.99 | 66.2 | 64.59 | 達成 |
| 一人あたりの年間医療費（国民健康保険被保険者） | 円 | 384,330 | 410,182 | 410,150 | 414,036 | 421,827 (暫定) | 450,714 (暫定) | 300,000 | 未達成 |

| ＜基本的方向＞（1）生命や営みを守り抜く強靱なまちの創造 | | | | | | | | | |
|------------------------------|----|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| KPI（重要業績評価指標） | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
| 自主防災組織率 | % | 73.7 | 77.5 | 78.1 | 78.1 | 78.3 | 78.5 | 100 | 未達成 |
| 市内住宅の耐震化率 | % | 65.6 | 63.0 | 83.0 | 84.0 | 85.9 | 87.2 | 95.0 | 未達成 |
| 老朽危険空き家率 | % | 12.7 | 11.1 | 10.0 | 15.0 | 14.6 | 14.3 | 10.0 | 未達成 |

【主な事務事業名】
 ・防災一般費 ・民間住宅耐震対策支援事業 ・空家等対策事業

【成果及び課題】

・令和6年度については、バイオマス資源化センターでの燃やせるごみの処理が一部前年度から繰り越されたため、数値が上振れしている。一般廃棄物のリサイクル率の全国平均が20%前後であることを踏まえると、本市は全国平均を大きく上回る水準で推移しており、引き続き、市民や事業者に対し、廃棄物の適切な分別や自主的な3R運動などを啓発し、リサイクル率の向上に努める。

・地域の防災体制の強化を図るためには自主防災組織の結成が不可欠であることから、今後、地域の集会等に出向いて指導・助言を行い、結成を促していくとともに、資機材の整備や、防災訓練に対する支援を行い、災害発生時の減災を図っていく。

・民間住宅の耐震化によって大地震発生時に想定される倒壊家屋等が減少することにより減災効果が見込まれる。市民の耐震への機運が下がらぬよう引き続き耐震化への補助や啓発活動を強化する。
 一方、空き家対策としては、老朽危険家屋に対する除却支援とともに、比較的状态の良い空き家については、空き家バンク制度、空き家バンクリフォーム補助金による利活用を促すことで、引き続きその増加を抑制する。

| ＜基本的方向＞（2）暮らしを守り、未来につなぐ | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| KPI（重要業績評価指標） | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
| 新しい公共交通手段（コミュニティバス、汽船、JR、タクシー以外） | 事業 | - | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 達成 |
| 公有財産（建物）の延床面積 | m ² | 395,826 | 394,065 | 378,804 | 392,115 | 384,939 | 375,467 | 367,296 | 未達成 |
| 汚水処理人口普及率 | % | 61.0 | 64.0 | 65.1 | 65.9 | 67.1 | 68.36 | 70 | 未達成 |

【主な事務事業名】
 ・交通政策推進事業 ・公共施設再配置事業 ・水と緑の美しいまちづくり事業

【成果及び課題】

・本計画期間内に、既存の公共交通以外の、本市の地域性や需要に即した新しい公共交通手段を取り入れてきた。「共同送迎」の取組は、介護現場での人材不足による職員の負担を軽減し、職員が本来の業務に専念できるよう介護施設への送迎の効率化を図るためのものである。また離島でも住み慣れた場所で暮らし続けることのできる生活の移動手段として「栗島グリーンスローモビリティ」を、交通空白地となっている過疎地域ではコミュニティバスでまかないきれないラストワンマイルの課題解決のための「財田乗合タクシー」の実証運行を行っている。今後もこれらを持続可能な公共交通として維持していくこと目指す。

・過去に建設された公共施設等がこれから大量に更新時期を迎える一方で、市の財政は依然として厳しい状況にある。持続可能な行政サービスを実現するため、必要な機能はできるだけ維持しながらも、公共施設の総量を減らしていく必要がある。今後も引き続き、できる限り財政負担のかからないよう、建物付での売却処分をスピード感を持って進めていく。

・本市は下水道を整備していないことも影響し、汚水処理人口普及率は目標値を未達成となった。浄化槽設置整備事業の状況は、令和4年度211基、令和5年度184基、令和6年度は187基であった。新築住宅の建設は増加しているが単独浄化槽等から合併浄化槽への転換については、資材の高騰が影響し減少したと思われる。引き続き令和7年度も合併処理浄化槽の設置推進、単独処理浄化槽や汲取り式トイレからの転換について、三豊環境保全事業協同組合と連携して補助制度の推進と普及啓発に取り組んでいく。

| ＜基本的方向＞（3）生涯健やかに過ごすための健康づくり | | | | | | | | | |
|-----------------------------|----|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| KPI（重要業績評価指標） | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
| 特定健康診査受診率 | % | 45.1 | 26.5 | 40.2 | 45.1 | 46.4 | 47.8 | 60.0 | 未達成 |
| 市立の医療機関施設数 | 箇所 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 達成 |
| 病床数 | 床 | 307 | 307 | 307 | 272 | 272 | 272 | 272 | 達成 |

【主な事務事業名】
 ・地域医療検討事業 ・特定健康診査事業 ・病院事業（西香川病院） ・病院事業（みとよ市民病院）

【成果及び課題】

・特定健康診査の受診率向上のため、一律の勧奨通知ではなく、データ分析により未受診者の特性に応じた勧奨はがきを送付したり、補充の集団健診を日曜日も開催するなど様々な取組を行っている。今後も生活習慣病の発症予防、健康寿命延伸のため、受診率向上に向けてより効果的な取組を検討していく。

<基本目標3>ひとが「出会う」みとよへ

| 数値目標 | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
|-----------------|----|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 観光入込客数 | 千人 | 1,695 | 1,281 | 1,272 | 1,583 | 1,812 | 1,822 | 2,000 | 未達成 |
| 社会増減（転入者数-転出者数） | 人 | -125 | -217 | -416 | -130 | -56 | -115 | 600 | 未達成 |

<基本的方向>（1）三豊の魅力が人を呼び込む観光の振興

| KPI（重要業績評価指標） | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
|-----------------------|----|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|------|
| 宿泊客数（暦年） | 千人 | 18 | 15 | 19 | 40 | 37 | 44 | 40 | 達成 |
| 外国人宿泊客数（暦年） | 千人 | 1.7 | 0.07 | 0.04 | 0.16 | 0.97 | 3.47 | 5 | 未達成 |
| かがわWi-Fiスポット数 | 箇所 | 7 | 60 | 57 | 55 | 58 | 45 | 100 | 未達成 |
| 温浴施設、物産館利用者数（市指定管理施設） | 千人 | 749 | 648 | 706 | 768 | 838 | 813 | 760 | 達成 |

【主な事務事業名】
 ・離島振興事業 ・観光振興事業 ・たからだの里管理事業

【成果及び課題】
 ・本市への入込観光客数は、父母ヶ浜を中心に、令和5年度から順調に増加している。それに伴い、周辺や荘内半島を中心に小規模宿泊施設が数多くオープンし、市内の宿泊者数、外国人宿泊客数が増加している。今後観光客の滞在時間の延伸、市内での観光消費が期待される。また、漂流郵便局が米紙「ワシントンポスト」に取り上げられるなど、海外からも大きな注目を集め、インバウンド取り込みの大きなチャンスとなっている。

・市の指定管理施設である「たからだの里」においては、一部施設で改修工事による休館の影響もあり、前年度から利用者数は減少したものの、目標値は達成した。今後も施設の情報発信をおこない、施設利用を継続して促していく。

<基本的方向>（2）移住・定住の希望をかなえる支援とPR

| KPI（重要業績評価指標） | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
|-------------------|----|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|------|
| 移住・定住支援制度の利用移住世帯数 | 世帯 | 67 | 62 | 91 | 55 | 59 | 37 | 80 | 未達成 |

【主な事務事業名】
 ・定住促進事業

【成果及び課題】
 ・令和5年3月までの転入者を対象とした「三豊市移住促進・家賃等補助金」の申請期限が終了したこと等により、制度利用者は減少となった。移住者数自体は令和5年度の183人から、令和6年度は186人となっており、今後は県等の特定財源を利用した支援制度と、効果的な情報発信により移住者の獲得を目指す。

| ＜基本目標4＞ひとが「創る」みとよへ | | | | | | | | | |
|---------------------------|----|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|------|
| 数値目標 | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
| 法人本店及び支店の設立件数（法人異動届の受理件数） | 件 | 60 | 51 | 71 | 64 | 64 | 74 | 100 | 未達成 |
| 国際大会・全国大会に出場し活躍する市民の数 | 人 | 95 | 9 | 108 | 135 | 170 | 168 | 110 | 達成 |

| ＜基本的方向＞（1）魅力とやりがいを実感し、暮らしに豊かさをもたらすことづくり | | | | | | | | | |
|---|----|-----------------|-------|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------|------|
| KPI（重要業績評価指標） | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
| AI活用による課題解決件数（累計） | 件 | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 未達成 |
| 敷地面積5ha以上を有する立地企業数（累計） | 件 | 7 | 8 | 9 | 9 | 10 | 10 | 9 | 達成 |
| みとよ創業塾受講者の創業件数 | 件 | 15 | 10 | 12 | 13 | 22 | 14 | 20 | 未達成 |
| 認定農業者数（累計） | 人 | 249 | 235 | 243 | 253 | 267 | 271 | 280 | 未達成 |
| 有害鳥獣捕獲数（イノシシ） | 頭 | 1,503 | 1,954 | 2,156 | 2,603 | 1,121 | 1,631 | 1,500 | 達成 |
| 耕作放棄地再生利用面積（5年間延べ） | ha | 8 | 6.5 | 1.12 (累計：7.62) | 0.3 (累計：7.92) | 0.51 (累計：8.43) | 0.96 (累計：9.39) | 10 | 未達成 |

【主な事務事業名】
 ・企業立地促進事業 ・産業振興事業 ・有害鳥獣対策事業

【成果及び課題】
 ・国際大会、全国大会に出場する市民の数は、新型コロナウイルス感染症の第5類移行後に多くの大会が再開されたことに伴い増加し、目標値を上回った。
 ・AI活用に関しては、過去に東京大学 松尾研究室の協力を得てゴミ出しに関する問い合わせシステムの実証実験を行ったものの、回答率が100%とならず、実装には至らなかった。しかし、AIが作成した文章を下地にして、職員が文書を作成するなど、業務の中で使用する場面は増加しつつある。人口や職員数が減少する中で、AIを利用して課題解決につなげるため、香川高専やMAiZM等とも連携し、AI活用による課題解決を検討する。
 ・みとよ創業塾は、令和4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で人数制限を設けていたが、令和5年度から人数制限を廃止し受講者が増加したことに伴い、目標値を達成した。
 ・認定農業者数は年々増加傾向であるが未達成となった。新たな担い手の確保、育成を図るため、補助制度など様々な支援策の周知に努め、関係機関との連携による研修会を開催する。耕作放棄地対策への問い合わせ件数は増加しており、市内の認定農業者、新規就農者の方々に補助事業の概要を周知を行う。
 ・令和6年度の有害鳥獣捕獲件数は、野生イノシシが家畜伝染病（豚熱）に感染して増加傾向である。今後も継続して有害捕獲を行うことにより農作物被害対策に取り組む。

| ＜基本的方向＞（2）挑戦する人を応援する温かい風土づくり | | | | | | | | | |
|------------------------------|----|-----------------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| KPI（重要業績評価指標） | 単位 | 平成30年度 (基準値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 目標値 | 達成状況 |
| 地域おこし協力隊員（任期終了後）の創業及び市内定着 | 人 | - | 1 | 3 | 3 | 3 | 4 | 5 | 未達成 |
| まちづくり推進隊自主事業における役務提供者数 | 人 | 9,719 | 4,726 | 4,549 | 10,650 | 10,664 | 10,206 | 21,000 | 未達成 |

【主な事務事業名】
 ・教育総務管理事業 ・地域おこし協力隊事業（農林水産課、産業政策課） ・まちづくり活動推進補助事業

【成果及び課題】
 ・地域おこし協力隊員の任期終了後の創業者が2名、及び任期終了後引き続き市内に在住、就業している元隊員2名の計4名が該当する。任用数は現在増加傾向にあり、今後さらなる増加が見込まれる。
 ・まちづくり推進隊自主事業における役務提供者数については、コロナ禍による一時的な減少の後は、一定の実績が現われている。ただし、令和6年度に実施したアンケートでは、推進隊の事業への参加者が限定的であり、会員による役務提供者も広がりが見込めないという結果となった。これを受けて令和8年度以降は、地域課題の解決に対し、より多くの住民が参加できるような制度への改正を予定している。